

みんなでこんなまちにしていこう！～チリリンすくも！の将来イメージ～



自転車は、老若男女を問わず誰もが気軽に利用でき、健康・環境・経済面など様々なメリットを享受できる乗り物として日常生活に欠かせない交通手段のひとつです。しかしかねてより自動車依存が顕著である本市では、市民の自転車利用は少ないのが現状です。加えて、交通ルールやマナーの遵守、自転車の走行環境や受入れ体制等に不十分なところもあり、より住みよいまちづくりに向け、地域が一体となって取り組んでいく必要があります。本計画では、子どもから高齢者までが自転車に触れる機会を増やし、自転車やサイクリングスポーツを市民にとって身近なものにしていくとともに、ルール・マナーの徹底や将来的な市民の生活の質の向上を図っていきます。みなさまのご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

宿毛市長 中平 富宏

みんなで自転車に乗ってチリリンすくも！生活を楽しもう！

チリリンすくも！プロジェクトは、ジブンに、まちに、地球に優しいまちづくりにつながります。宿毛市をずっと住み続けたいまちにしていけるために市民のみなさまと一緒に自転車のあるまちづくりを進めていきたいと考えています。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします！

宿毛市自転車を活用したまちづくり計画【概要版】

平成31年3月 発行：宿毛市企画課
〒788-8686 高知県宿毛市桜町2番1号
TEL 0880-63-1118 FAX 0880-63-0174



ジブンに、まちに、地球にいいこと、はじめよう！



チリリンすくも!

宿毛市自転車を活用したまちづくり計画

プロジェクト
【概要版】



チリリンすくも!ってなに? どうして自転車なの?

「チリリンすくも!」はみんなでもっと自転車に乗ろうよ!というプロジェクト。自転車は誰でも気軽に楽しめる乗り物よね。特に最近は健康づくりや地球にやさしい乗り物として見直されているの。人と自然にやさしいまちづくりを目指す宿毛市はみんなが自転車に乗ることで、まちの豊かな自然や文化を楽しみながら、子どもからお年寄りまでいきいきと暮らせるまちを目指してプロジェクトを立ち上げたんだよ。



自転車に乗ると、なにかいいことがあるの?

みんなで自転車に乗ることで、チリリンすくも!プロジェクトではこんな効果が期待されているよ。このほかにも色々なメリットがあるんだよ。



自動車より
エコでクリーン!
地球と子どもたちの
未来のために!

心も体も
健康で長生き!



今は自動車移動がメインで、自転車はあんまり使ってないけど、いいことあるなら乗ってみようから。でも具体的にはどういうことをするのか? はなちゃん、詳しく教えてくれる?



詳しくは中面ハレツッゴー!

チリリンすくも！プロジェクトってどんなことをするの？



宿毛市では4つの基本方針にもとづいて、具体的な取り組みをいろいろ考えているよ。



1

自転車利用のきっかけづくり

健康増進や環境負荷の低減、災害時の活用など色々なシーンで役立つ自転車のメリットを発信していきます。また、自転車が市民にとってより身近なものになるよう、子どもからお年寄りまで気軽に自転車に乗れる環境を整備します

取組例① 自転車ツーキニストの増加



自転車利用による健康効果を検討するモニター事業等を実施し、健康増進や環境負荷低減につながる、通勤に自転車を利用する人(ツーキニスト)の増加を目指します。

▲ツーキニストイメージ写真

取組例② 自転車による健康効果等の発信



高齢者の生きがいづくり、壮年層の生活習慣病予防等のため、自転車による健康増進効果を広報誌やウェブサイト等で発信していきます。

▲地域ならではの食や景観を楽しむサイクリスト

2

安心して自転車に乗れるまちづくり

あいまいな自転車交通ルールやマナーを明確にし、市民の交通安全意識の定着を図るとともに誰もが安心して過ごせるまちづくりを目指します

取組例① 交通安全教室等の継続実施



事業者等と連携し、既に実施している交通安全教室を継続して実施します。

◀宿毛サイクルフェスティバル2018にて自転車教室に参加する子どもたち

取組例② ヘルメット配布事業



自転車に乗り始める年齢と考えられる小学校新入生に自転車の安全利用を促すため、ヘルメットを配布します。

▲宿毛サイクルフェスティバル2018にて自転車教室に参加する子どもたち



3

自転車が一番便利なまちづくり

公共施設に加え、飲食店、宿泊施設等の既存観光施設と連携し自転車に乗る市民や観光客にとって快適なまちづくりを目指します。また、情報収集等にだれもが気軽に訪れることのできる拠点を整備します

取組例① 拠点(サイクルオアシス)の整備

市街地にも郊外にもアクセスのよい立地にある林邸を情報収集等、誰もが気軽に利用可能な拠点(サイクルオアシス)と位置付け整備します。広域および中心市街地双方のネットワークの中心として、サイクリングコースの発着点等に求められる機能を整備します。



▲歴史的価値を持ち、市民の交流拠点施設として整備された「林邸」は、トイレやコインシャワーが屋外から入れられる仕組みとなっており、サイクルウェアを着たままでも気軽に利用できる

取組例② 既存資源を活かす魅力的なサイクリングコースの整備

拠点(サイクルオアシス)を中心に、本市の豊かな森林資源を活かしたコースの整備や、今ある地域資源を有機的に結び、多様な魅力を感じられるようなサイクリングコースを選定し魅力あるネットワークの形成を図ります。



▲宿毛市観光協会主催のイベントにて木々に囲まれたコースを走るサイクリスト



▲沖の島で開催されたサイクルイベント。風光明媚な景観や、近海で採れた新鮮な海産物を食すBBQ、地域の方との交流がサイクリストを魅了している

4

地域の魅力を知るきっかけづくり

自転車と地域の資源を結びつける商品開発や、ストーリー性のあるコース設定、イベントの実施等により、自転車利用の促進を図ります。本市の魅力を発信し、市民の地域への愛着を育むとともに、知名度の向上と国内外からの観光客の誘致を目指します

取組例① オランダホストタウン関連事業の実施

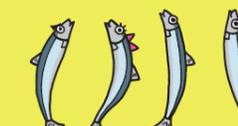
ホストタウンの登録にちなみ、オランダ自転車チーム代表選手等との交流イベントや2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催中の代表選手の応援事業を進めていきます。



▲ホストタウン登録を記念して開催された宿毛サイクルフェスティバルの様子(平成29年度)

取組例② 自転車利用を通じた宿毛の魅力発見イベント等の開催

既存のサイクルイベントを継続的に開催し知名度向上を図ると共に、食やバザー等の催しと合わせたイベント等を積極的に実施し、地域での自転車利用を推進していきます。



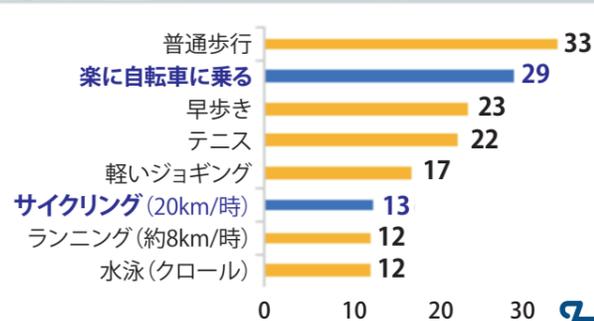
◀平成29年度より市内で開催している自転車イベント「宿毛サイクルフェスティバル」市内周遊サイクリングや子どもたちへの安全教室等を実施し、自転車の活用と安全利用を市民へ呼び掛けている



自転車健康コラム

自転車は気軽に始めやすく、ランニングや水泳と同じくらいエネルギー消費効果が高い乗り物です。

▶体重60kgの人が100kカロリーのエネルギーを消費するのにかかる時間(分)
(出典：厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準2013」)



自転車を軸として、これからいろいろな取り組みが始まっていくんだね。なんだかわくわくしてきたよ。

▶次ページへ

チリリン♪みんなで自転車に乗ることでどんなまちになるのか、見てみましょう!

